

宮陵会報

Kyu-Ryo

No.88

2009・8

発行責任者
 社団法人 宮 陵 会
 広報委員会

〒221-0802
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 神奈川大学内

TEL 045-481-5661
 (内線 2451~3)

FAX 045-413-0791

印刷所 株式会社 江森印刷所



登頂証明書



支援隊

チョモランマ屋景



アドバンスベースキャンプへ下山



チョモランマ登頂

Contents No.88

- 平成21年度第1回代議員会・通常総会開催される 2
- 平成21年度通常総会で表彰を受けた方々 3
- 平成21年度事業計画について 4
- 役員・代議員会正副議長・常任委員長名簿(平成21・22年度) ... 4
- 貸借対照表総括表・正味財産増減計算書総括表・
 平成21年度収支補正予算書総括表 5
- チョモランマ登頂成功! / 大きな一歩 6
- 支部だより 6
- 本部だより 7
- 準会員ニュース 7
- 大学ニュース 8



雪壁内のクレパス帯

平成二十一年度 第一回 代議員会・通常総会開催される

平成二十一年五月二十四日(日)に今年度の第一回代議員会及び通常総会がそれぞれ有効に成立要件を満たし開会された。代議員会の議案は、第一号議案・平成二十一年度収支決算報告に関する件、第二号議案・平成二十一年度補正予算に関する件、第三号議案・役員に関する件で、通常総会の議案は、第一号議案・平成二十一年度収支決算報告に関する件、第二号議案・平成二十一年度事業計画及び収支予算に関する件、第三号議案・代議員の承認に関する件、第四号議案・役員承認に関する件で、審議のうえ議案どおり可決、承認された。

社団法人 宮陵会

会長 狩野七郎

宮陵会会長の狩野でございます。本日にここに平成二十一年度事業・決算の報告をさせていただきます。みなさまのご意見をうかがったうえ承認を求めたいと存じます。

さて、昨年来の一〇〇年に一度と呼



び一度と呼ばれる経済大変動は今年どうなってしまうのかと私たちを不安に陥れています。これは経済にとどまらず家庭や教育あらゆる面に影響をあたえる

ることになるでしょう。

しかしながら、大変は大変であります。が、我々はあまりこれに一喜一憂することなく冷静に対応していこうではありませんか。

それでは活動で特筆すべきことのみここでは紹介させていただきます。

まず懸案の中国ブロックの立ち上げがあり、広島県支部を再建いたしました。これは会誌「宮陵」58号で紹介し、ご苦労やら活躍の様子を詳細に報告したところ。これは紙面をとおしてでもその喜びの様子が伝わってきました。

また法人格等検討特別委員会を設け、公益法人制度改革にもなう移行について現在検討を重ねているところです。近々のうちに案として示されるものと思

います。その他、神奈川大学80周年記念寄付金や給付奨学金を予算にのっとり支出し、大学に協力しました。なにより大学を多くの卒業生でバックアップし「選ばれた大学」になってもらうよう宮陵会会員一同願ってやみません。これより逐次議事説明があります。どう

かこの機会に建設的な意見をたくさんいただき、より良い神奈川大学と宮陵会の運営に寄与出来ますよう、加えて会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

学校法人 神奈川大学

理事長 伊藤文保

本日、県内、県外の地域支部の皆様、さらには職域、同期、同好会支部などの皆様、多数ご参加のもとに総会が無事に終えられましたこと、お慶びを申し上げます。日ごろ、本学に對してたいへんきめ細かなご支援ご協力を頂戴しております。改めて心から感謝を申し上げます。

大学のありようをいたしまして、学園の評価、さらには永続性、こういった観点からいたしまして、卒業生組織との連携強化は必要不可欠からざることであると考えておりますので、私どももいたしまして皆様とは引き続き良好で親密な関係を維持し、さらに発展すべく努力をしております。よろしくお願い申し上げます。

さて、ご案内のとおり、昨年は本学創立八十周年ということで各種記念行事等を執り行ったところでございますが、その際には宮陵会の皆様の大変なご協力、ご参加も頂戴いたしましたことを感謝申し上げます。加えまして給付奨学金、課外活動への支援、公開講座への援助など、項目にいたしまして十一にもわたる分野に多大なご支援を賜りました。厚くお礼を申し上げますとともに、学生諸君にとりまして大変な励まし、さらにはお力をいただいておりますことをご報告させていただきます。

今年湘南ひらつかキャンパスが開設されましたから、早や、二十年でございます。これに合わせまして湘南ひらつかキャンパス整備事業を進めて参りましたけれども、この七月には新棟も完成いたしました。そして、その他、諸々の施設も大幅な移転改修を進めております。この秋には一新した姿で二十周年記念事業を企画いたしました。皆様には記念式典等にござつてご出席をいただければと考えております。

また、昨年は大学創立八十周年を期に、創立一〇〇周年に向けた神奈川大学将来構想を策定し、公表いたしました。現在、その実行計画ともいえるべきアクションプランを練り上げています。中堅堅実の建学の精神を柱に据え、二十年後の神奈川大学像を築き上げるために、具体的に何を計画的に行うべきか、検討を重ねております。少子化による受験生の減少や二極化現象等の影響からか、昨年度の受験生は残念ながら三万人を割り込むことになりましたし、おしなべて大学経営の今後は予断を許さないものがございます。現実を冷静に見極め、先々の備えと

平成21年度通常総会で表彰を受けた方々

感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)

◆本部関係

澤 木 武 美 氏
昭和47年経済学部経済学科卒業
昭和52年経済学研究科経済学専攻修士
元理事・準会員委員長

◆支部関係

寄 木 清 二 氏(故人)
昭和45年工学部機械工学科卒業
元室蘭支部事務局長

山 田 俊 文 氏
昭和39年法経学部貿易学科卒業
元茨城支部支部長・副支部長

行 竹 孝 夫 氏
昭和36年工学部電気工学科卒業
元大阪支部副支部長・理事・会計監査

谷 本 正 紀 氏
昭和42年法学部法律学科卒業
元伯耆支部支部長・副支部長

本学が直面し、解決していきべき課題は山積いたしてありますが、学外の皆様のお知恵等もお借りしながら、課題解決に努めて参りたいと存じます。国際化という点ではこの四月に宮陵会上海支部を立ち上げていただきました。今後、アジア圏留学生受け入れのためにお力添えをいただけるのではないかと期待いたしております。

さらに重ねて申し上げることにありますが、大学と宮陵会、そして後援会、この三者の組織がほどよく緊密に協調しあうことよって大学の将来はより堅実な姿が約束されるものと信じております。

宮陵会のますますの発展、皆々様のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。ありがとうございました。

神奈川大学

学長 中島三千男

宮陵会の皆様、今日は。皆様方にはいつもたいへんお世話になっております。心より感謝申し上げます。

私の方からは二つの事に絞ってお話させていただきます。

一つは、皆様方にたいへんご心配をかけました、例の大学基準協会による、法務研究科(法科大学院)の認証評価で不適合という判定を受けたことです。私が

学長に就任して以降、平等主義はやめて、必要などころには重点的に施策を行っていくというところで、法人の協力を得て、この法務研究科に対しても様々なかたちで支援・強化策を執行してまいりました。しかしながら、いくつかの点で、時間的に間に合わなかったということ。この点、学長として大変責任を感じ、申し訳なく思っています。しかし、指摘された点はすでに全部解決されておりまして、今後、法務研究科とともに一生懸命がんばって、名誉挽回したいと考えております。

もう一つ、これはいいニュースでございます。本学には日本常民文化研究所という世界的にも有名な日本の民俗学、歴史学の研究所がございます。大学院歴史民俗資料学研究所とともに21世紀COEプログラムの拠点にもなりましたが、この研究所が文部科学省の「共同研究拠点とする事業」に採択されました。この事業は、国公私立大学の付置研究施設のうち、全国の関連研究者が共同利用することに、学術の発展に特に資する施設を、文部科学大臣が拠点として認定し、日

本全体の学術の発展を図ることを目的としたものです。日本常民文化研究所は「世界常民文化研究機構の設立」というテーマで採択されました。本年度この共同研究拠点に認定されたのは全体として73件ですが、圧倒的に旧七帝大を中心とする国立大学が占める中、私立大学は僅かに3件、また、特に人文系は僅か2件で、早稲田大学の演劇博物館と、神奈川大学日本常民文化研究所のみでした。今後、この研究所は本学の研究所であるとともに、日本を代表する、人類の生活文化研究の世界的拠点としての役割を果たしていくこととなります。

この、二つの事柄についても、宮陵会の皆様には様々なかたちでご支援をいただかなければならないかと思っておりますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。
役員・代議員会正副議長・常任委員長名簿(平成21・22年度)は4頁に掲載

湘南ひらつかキャンパス開設20周年

神奈川大学湘南ひらつかキャンパスは、本年開設20周年という節目の年を迎えます。そこで、記念式典及び祝賀会を下記のとおり行いますので、お知らせいたします。

2009年10月24日(土)

記念式典 11時~11時40分

場所:新棟ホール

本年7月末に竣工致します。

新棟見学会 11時45分~12時15分

祝賀会 12時30分~14時30分

場所:厚生棟

終了後は、平塚祭(24日(土)・25日(日)実施)をお楽しみください。

祝賀会は、ホームカミングデーを兼ねて実施致します。

お問合せ先

神奈川大学湘南ひらつかキャンパス

平塚事務部庶務課 電話0463(59)4111(代表)

平成二十一年度 事業計画

一、神奈川大学の進展と維持に必要な援助

- (1) 大学創立80周年記念事業の協力
- (2) 神奈川大学創立80周年記念募金に対して総額1億円の寄付。第2回目分。
- (3) 大学公開講座の協賛
- (4) 神奈川大学が主催する一般公開講座への協賛。
- (5) ホームカミングデーの協賛
- (6) 神奈川大学主催によるホームカミングデーへの協賛。
- (7) 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
- (8) 神奈川大学のクラブ・サークルに対する賛助金の募集。
- (9) 奨学金の給付及び貸与
- (10) 給付奨学金
- (11) 特別給付奨学金
- (12) 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)
- (13) 宮陵会スポーツ課外活動支援特別奨学金規程による指定寄付金。神奈川大学課外活動指定強化部制度第1・2種指定強化部に所属し、優れた能力を有する学生を対象とし、学費等を4年間にわたり給付する。
- (14) 特定給付奨学金(課外活動特別給付金)
- (15) 課外活動団体支援を目的とする奨学金。
- (16) 貸与奨学金
- (17) 宮陵会奨学金規程による経済的困窮の学生に対する本会独自の貸与奨学金。
- (18) クラブ活動等援助及び講演会・スポーツ大会等の開催、体育の振興
- (19) 課外活動への援助、講演会、スポーツ大会等の開催。世界、全国レベルで活躍する准会員を応援する事業。
- (20) クラブ活動等助成金
- (21) 神奈川大学教育振興基金規程第6条第1項第2号及び第3号に関する指定寄付金。
- (22) 講演会・スポーツ大会等の開催
- (23) 准会員委員会主催による講演会及びスポーツ大会の開催。
- (24) 体育の振興
- (25) 競技大会参加費、OB指導者交通費、鏡開き表彰等の助成。
- (26) 卒業祝賀行事の共催
- (27) 正会員となる新卒業生に対し、卒業祝賀会費用を大学、後援会と分担し援助する。
- (28) 新入生へ記念品の贈呈(校歌CD)
- (29) 神奈川大学吹奏楽部による校歌、応援歌を収録したCDを制作して新入生へ贈呈。
- (30) 新卒業生へ記念品の贈呈
- (31) (CD-ROM)大学と共催)
- (32) 卒業生との関係強化の一環として、大学生の思い出を収録したCD-ROMを大学と共催で制作して、卒業記念品として贈呈。
- (33) 案内を継続的に行い、納入促進に努める。
- (34) 奨学金寄付金の募集

二、会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事項

理事長	30 経	狩野七郎	理事	56 経	原田浩行(新)
副会長	33 賀	新井三夫	監事	33 経	渡邊武
副会長	41 法	秋田琢次	監事	43 賀	三縄昭男
専務理事	37 機	武川勲夫	監事	53 法修	三宮政俊(再任3名)
専務理事	44 経	大場憲治	代議員会議長	35 経	磯邊晃
専務理事	48 賀	平能孝一	代議員会副議長	35 経	大澤武法(再任2名)
理事	34 法	西森秀明	常任委員長	45 経	今田正紀
理事	34 経	能見尚雄	財政	56 経	原田浩行(新)
理事	36 経	重松峰子	組織	43 賀	原田進治(新)
理事	39 法	杉村美智子	広報	59 賀	村川浩幸(新)
理事	40 応化	北野紘一	準会員	56 経	原田浩行(新)
理事	41 法	吉村蒔子	婦人部	60 英	手塚正
理事	43 賀	橋本正俊	体育振興		
理事	44 経	宇久田進治			
理事	45 経	今田正紀			
理事	49 電修	穴田哲夫			
理事	51 機	内藤正久			

役員・代議員会正副議長・常任委員長名簿(平成21・22年度)

- (1) 貸与奨学金へ基金資金として、広く会員から寄付を募集する。
- (2) 組織の拡充(ブロック会、支部との連携並びにブロック会、支部の設立及び再建支援)
- (3) 支部連携祝金、旅費、通信費
- (4) 支部総会開催時、本部出席時の祝金、交通費及び支部総会資料発送通信費等。
- (5) 支部助成金
- (6) 支部総会通信費補助(職域・同期・同好支部を除く)、支部設立周年行事経費助成、准会員支部総会参加費助成(地方・同期・同好支部のみ)等。
- (7) ブロック会議費
- (8) ブロック会議開催支部経費助成、講演者への講演料、参加支部の旅費交通費助成。
- (9) 支部設立再建支援
- (10) 支部設立準備、再建支援のための助成。
- (11) 全国支部長会議の開催
- (12) 隔年で開催される全国支部長会議開催時経費等。
- (13) 会誌・会報の発行
- (14) 会員間の情報共有として重要な事業。
- (15) 平成21年度は会報は住所判明者全員に送付するが、会誌については会費納入者のみに送付予定。
- (16) 「神奈川大学校友VISAカード」の入手促進及び提携店拡大
- (17) 神奈川大学校友VISAカードの入手促進等。会員数四八七名(平成21年3月末現在)
- (18) その他の目的達成に必要な事業

※役員は全員非常勤です。

平成20年度貸借対照表総括表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

科目	一般会計	奨学金運用 特別会計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	76,880	0	76,880
普通預金	23,511,409	28,206,405	51,717,814
振替貯金	75,000	0	75,000
定期預金	30,000,000	0	30,000,000
貸付金	0	42,728,150	42,728,150
流動資産合計	53,663,289	70,934,555	124,597,844
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	0	3,000,000
基本財産合計	3,000,000	0	3,000,000
(2) 特定資産			
定期預金	160,279,899	0	160,279,899
有価証券	175,917,000	0	175,917,000
出資金	10,000	0	10,000
特定資産合計	336,206,899	0	336,206,899
固定資産合計	339,206,899	0	339,206,899
資産合計	392,870,188	70,934,555	463,804,743

科目	一般会計	奨学金運用 特別会計	合計
II 負債の部			
流動負債			
預り金	99,939	0	99,939
前受金	251,000	0	251,000
流動負債合計	350,939	0	350,939
負債合計	350,939	0	350,939
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への 充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への 充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	392,519,249	70,934,555	463,453,804
(うち基本財産への 充当額)	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
(うち特定資産への 充当額)	(336,206,899)	(0)	(336,206,899)
正味財産合計	392,519,249	70,934,555	463,453,804
負債及び正味財産合計	392,870,188	70,934,555	463,804,743

平成20年度正味財産増減計算書総括表

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科目	一般会計	奨学金運用 特別会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常利益			
基本財産受取利息	3,006,598	61,352	3,067,950
受取会費収入	121,767,000	0	121,767,000
奨学貸付金回収	0	22,891,400	22,891,400
一般会計繰入金	0	10,000,000	10,000,000
雑収入	1,512,519	81,000	1,593,519
経常収益計	126,286,117	33,033,752	159,319,869
(2) 経常費用			
事業費	127,191,936	0	127,191,936
貸与奨学金事業費	0	29,068,000	29,068,000
管理費	16,235,836	0	16,235,836
経常費用計	143,427,772	29,068,000	172,495,772
当期経常増減額	△ 17,141,655	3,965,752	△ 13,175,903
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	6,176,600	6,176,600
経常外収益計	0	6,176,600	6,176,600
(2) 経常外費用	10,000,000	0	10,000,000
経常外費用計	10,000,000	0	10,000,000
当期経常外増減額	△ 10,000,000	6,176,600	△ 3,823,400
当期一般正味財産増減額	△ 27,141,655	10,142,352	△ 16,999,303
一般正味財産期首残高	419,660,904	60,792,203	480,453,107
一般正味財産期末残高	392,519,249	70,934,555	463,453,804
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	392,519,249	70,934,555	463,453,804

平成21年度収支補正予算書総括表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科目	一般会計	奨学金運用 特別会計	合計
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
基本財産利息収入	2,000,000	10,000	2,010,000
会費収入	106,900,000	0	106,900,000
雑収入	600,000	0	600,000
貸付金回収	0	18,000,000	18,000,000
一般会計繰入金	0	30,000,000	30,000,000
事業活動収入計	109,500,000	48,010,000	157,510,000
2 事業活動支出			
事業費支出	148,890,000	0	148,890,000
貸与奨学金事業費支出	0	40,000,000	40,000,000
管理費支出	23,738,000	0	23,738,000
事業活動支出計	172,628,000	40,000,000	212,628,000
事業活動収支差額	△ 63,128,000	8,010,000	△ 55,118,000
II 投資活動収支の部			
投資活動収入	60,000,000	22,000,000	82,000,000
投資活動収入計	60,000,000	22,000,000	82,000,000
投資活動支出	30,280,000	0	30,280,000
投資活動支出計	30,280,000	0	30,280,000
投資活動収支差額	29,720,000	22,000,000	51,720,000
III 予備費支出	19,904,350	0	19,904,350
貸付金充当	0	100,944,555	100,944,555
合計	19,904,350	100,944,555	120,848,905
当期収支差額	△ 53,312,350	△ 70,934,555	△ 124,246,905
前期繰越収支差額	53,312,350	70,934,555	124,246,905
次期繰越収支差額	0	0	0

チヨモランマ登頂成功!

二〇〇九年五月一日、チヨモランマ(八八四八)登頂。それは遠征隊員・留守本部・神奈川大学中島学長他御支援を頂いた関係各位の方々に、感動と感激をあたえたものと思えます。

一年以上に亘る諸々の計画・準備・折衝、関係各位様のご支援を頂き三月二日に遠征本隊カトマンズに向け出発、ネパール、ラタン谷奥のヤラピーク(五七三二m)で二週間の高度順応をへて、四月一七日にエベレストBC(五二〇〇m)ベースイン、早速七〇〇mまでの高度順応に着手、そして五月四日五名のアタック隊員ABC出発、幾多の苦難・危険・犠牲の結果二名の登頂でした。

二〇〇〇年に一旦廃部状況に追い込まれるが、中堅OB達を中心に部の復活を掛けたセブンサミッツ計画立案・実行それは、多くの神大生・OB諸氏の皆様に未知なる事への挑戦する冒険家魂に通ずる、勇気と自信を与えてくれると信じ邁進してき

ました。

セブンサミッツとは七大陸最高峰制覇、神大隊は既に五大陸最高峰をクリアして今回のアジア大陸最高峰であり世界最高峰のチヨモランマ(エベレスト八八四八)で六峰クリア、残す所南極大陸最高峰ビンソンマシフとなります。南極遠征は今年一二月出発二〇一〇年一月登頂予定で推進しておりビンソンマシフ登頂に成功すれば、単独大学遠征隊でのセブンサミッツ初制覇となる快挙です。(神奈川大学学士山岳会理事長 菊池稔)



本隊・支援隊全員集合

大きな一歩



小島敏男(昭和44経卒)

本年九月、自分の人生の中で大きな一歩を踏み出す事になります。

JICAのシニア海外ボランティアで「ラオス」に行くことになりました。中学時代より続けていた柔道(もちろん学生時代も柔道部でした)の指導です。

以前より六十歳をひとつの区切りと考え、仕事・組織等の役職をすべて辞任し、身軽になつて次の人生で何かボランティア活動をしたいと考えていました。

JICA横浜館で資料に目を通して、スポーツ指導に目がとまり、何か自分出来る項目はないかと調べて見るといくつもの国からの「柔道指導」の項目があり、特に中目目を引いた「ラオス」からの要請項目は「自国のナショナルチームのレベルアップ」「国内組織の充実」「指導者の指導」「地方での指導」、資格の条件は「指導十年以上」「柔道五段以上」「二年間の継続指導」との事でした。資格条件は問題なくクリアでき、要請項目も「やりがいがある」と思つて、「やらなうに後悔するより、やってみなければわからない」と昨年の秋募集に応募してみました。

一次試験は「資格条件」「健康診断」「海外でのボランティア活動に対する考え方」などの書類審査があり、十二月初めに一次試験の合格通知書と十二月二十五日に二次試験実施要綱資料が送られ、試験当日は英語の設問・リスニングテスト・面接・再度精密な健康診断などで最終的に二月二十五日に最終結果の発表結果は・・・「合格」でした。

合格通知書と今後の派遣までの日程が同封されており、七月より約二カ月間JICA二本松研修所にて語学(英語)、現地言語(ラオス語)、任地国の文化等の研修を終了後、九月末頃任地国(ラオス)へ出発との事です。

過去、海外へは旅行では何回か出かけておりますが、生活することは初めてです。当初は希望と同時に不安がいつぱいですが、だんだん日がたつにつれ不安も薄れてきています。

六十歳を過ぎてからの新たな事への挑戦はなかなか一歩を踏み出すには勇気が必要です。しかし、一歩を踏み出さなければ何も進まない。進まなければ何も変わらない。勇気を持つて一歩踏み出すことにより、新しい世界が開けると信じております。

今回のこの一歩が、これからの自分にとってどんなにすばらしい事になるか非常に楽しみにしております。

支部だより

今後の支部総会(地域支部)開催予定

- 9月5日(土) 北海道ブロック会
- 9月19日(土) 旭川支部総会
- 9月27日(日) 岩手支部総会(創立60周年)
- 9月27日(日) 中国ブロック会
- 9月27日(日) 岡山支部総会
- 9月27日(日) 近畿ブロック会
- 10月3日(土) 兵庫支部総会
- 10月3日(土) 北陸ブロック会
- 10月4日(日) 石川支部総会
- 10月31日(土) 奈良支部総会
- 10月31日(土) 九州ブロック会
- 11月7日(土) 北九州支部総会
- 11月7日(土) 四国ブロック会
- 11月8日(日) 香川支部総会
- 11月7日(土) 東北ブロック会
- 青森支部総会

お問い合わせは宮陵会事務局まで
電話 045(481)5661 (内線2451)
FAX 045(413)0791

横浜市内未組織・休眠支部活性化の動き

本年2月28日(土)企画特別委員会の提案による横浜市内支部設立準備発起人会が開催され、休眠区(磯子、西)、未組織区(瀬谷、泉、鶴見、中、金沢、港北、港南)に在住する会員の中から代議員を中心に数名ずつ準備発起人を依頼した方々が出席した。委員長の新井副会長より本学の所在地である横浜に於いて創立者米田先生ご存命中は区毎に活動していた支部が現在は神奈川、南、保土ヶ

準会員ニュース 神奈川大学管弦楽団

「私たち、神奈川大学管弦楽団は今年12月20日に行われる第19回湘南ひらつか第九のつどいにオーケストラとして参加します。それにあたり、4月から月に一度、平塚市文化財団の方や合唱団の方と話し合いを設けて今回の第九が成功するようにと準備をしています。現在、ポスター・チラシ作りを進めていて、そのデザインを当団の団員が考えるなど、ただ演奏者として参加するのではなく、多岐に渡り活動しながら団員一同日々練習に励んでいます。今回この第九を通して、地域の方々との交流を深め、今後の活動の幅を広げると共に、団員の自立や協調性を身につけていけたら良いのではないかと考えています。」

現在コンサートマスターの村瀬佳幸君(自治行政3年)は、最年少(小2)で家族とともにこの第九の合唱団に参加した経験を持ちます。今回は、お祖父さんとの共演を果たします。なお、合唱団は8月14日まで募集しています。お近くの方は後輩たちと共演されてはいかががでしょうか。また、12月の公演にもぜひ足をお運びください。

平塚市民の公募による「湘南ひらつか第九のつどい」
平成21年12月20日(日) 14時開演 平塚市民センターホール
◆指揮 松岡 究 ◆管弦楽 神奈川大学管弦楽団



谷・旭、横浜北(都筑・緑・青葉)、戸塚・栄の5支部しか活動して居らず、在住会員二万七千名を抱える地元として問題である。との認識から本日の会議を開催した。との主旨が述べられ、休眠区支部の再開・未組織区の組織化に向けてのタイムスケジュールが示された。

返信先は本部事務局とする。9月…入会会員名簿作成・設立準備は各区委員と本部が連携して行う。10月…10月18日(日)午前10時、神奈川大学横浜キャンパス20号館にて区支部設立合同総会開催。その後各区に分かれ審議。午後からホームカミングデーに参加し懇親会

3月…支部発起人の推薦候補者選出。資料として本部の区別会員名簿を利用。
4月…発起人暫定候補者と準備役員候補者の選定。区支部規約・事業計画作成。
6月…支部設立総会の起案
7月…支部設立についての案内文確定し広報委員会へ寄稿

12月…箱根駅伝の応援体制準備し1月に備える。上記日程に基づき区毎に発起人の選出を行い、結果を本部で纏めて候補者あてに発起人就任の可否と第一回設立準備会の案内を送付した。

8月…宮陵会報に区支部設立状況を報告
その後本部より設立総会の案内状・入会についての会員からの返信はがきを同封した通知を対象の区に在住する会員に送付。

各区の設立準備委員はその後3月一杯何度か会合を重ね、区支部設立発起人候補の補充を図った。磯子区支部は4月4日(土)設立準備会代表の木村仁氏(48歳)により磯子区丸山台ハ

イツ集会所にて第一回設立準備会が開催され神奈川大学教授佐藤憲一氏(48歳)以下6名の参加を得て設立の意義、今後の活動につき議論が交わされた。その結果6月6日(土)に再度準備会を開催することとした。2回目は8名の参加を得て発起人候補は前回7名から20名に増え、この勢いで支部設立の中核となるメンバーを確保すべく7月30日(木)場所をJR新杉田駅下の居酒屋にて3回目の準備会を予定し対象者名簿を本部に送り案内状を発送して頂いた。

港南区でも支部を立ち上げる事とし、永森忠邦氏(34歳)を中心に杉村美智子氏(36歳)、橋本正俊氏(41歳)を含め13名の発起人が桐生秀昭氏(49歳)の事務所を拠点に更なる人材確保を図って準備中である。

西区と中区は合同で組織化を図る事となり西区から君島清悟氏(29歳) 吉崎光男氏(33歳) 中区から堤宏氏(33歳) 柴田愛子氏(30歳) 高橋建氏(63歳) が準備委員として参加、3月から月1回会合を持ち組織作りを図って居る。

瀬谷・泉区は鈴木正太郎氏(29歳)を中心に5名の委員が既設の戸塚・栄支部と合同して活動出来ぬか検討中である。鶴見・港北・金沢区は未だ準備会の立ち上げには至っていない段階である。

本部だよ!

新支部紹介

神奈川大学同学会(宮陵会)上海支部
(平成21年3月29日設立総会、4月25日理事
会承認)
支部長 平7経博前 韓 興勇

ホームカミングデーのご案内

◆横浜キャンパス◆
日時 平成21年10月18日 12時より
場所 神奈川大学横浜キャンパス体育館
招待卒業生
①卒業後50年以上の校友
②昭和34年3月以前の卒業生
③卒業後35年の校友(昭和49年3月卒業)
④卒業後20年の校友(平成元年3月卒業)
⑤卒業後10年の校友
(平成11年3月、9月卒業)
⑥卒業後1年の校友
(平成20年9月、21年3月卒業)
※①～⑥以外の校友も出席いただけます。
お問合せ先
神奈川大学ホームカミングデー実施事務局
電話 045(481)5661(代表)
FAX 045(491)7915

新支部長紹介

旭川支部 48工経 宮原 進
和歌山支部 41経 巽 正博

スポーツ課外活動支援特別奨学生採用者

平成21年度スポーツ課外活動支援特別奨学生が決定し、平成21年6月11日に授与式が行われました。

- 硬式野球部
 - 人間科学部人間科学科 末松 浩由
 - 人間科学部人間科学科 伊藤 将太郎
- 陸上競技部
 - 人間科学部人間科学科 下里 雄喜
 - 人間科学部人間科学科 今枝 浩二
 - 人間科学部人間科学科 福田 健太

※給付額は、入学金及び年間学費(授業料・施設設備資金)の全額とする。

湘南ひらつかキャンパス 新棟11号館竣工

創立80周年記念事業の一環として進められていた、湘南ひらつかキャンパス新棟、11号館四、二二三㎡が完成を迎えました。五五〇人収容規模の多目的ホール、パソコン演習室、パソコンラウンジが整備され、授業や学術講演会などに活用されるほか、事務局の機能集中により学生の利便性が向上します。



完成目前の様子。7月1日撮影

湘南ひらつか 七夕まつり

七月二日から五日に開催された湘南ひらつか七夕まつりに、本学としては三回目の竹飾りを出展しました。最終日、行われた音楽隊パレードには、本学が誇る吹奏楽部も参加し、すばらしい演奏を披露しました。



七夕飾りは全市夜景の部で準入選!

全日本大学駅伝対校選手権 予選応援記

平成21年6月21日国立競技場にて、予選会が行われた。

手塚体育振興委員長、南区岩崎支部長と会員、藤沢、千葉支部会員、有志、総勢20名が集まり、応援を行った。

選考レースは、各校8名の選手1万m走の合計タイム、上位6校までが予選を通過、1人の失敗も許されない、過酷なレース。

結果は、明大がトップ通過、以下東海東農、専大、中大と続き、青学が1秒差ですべり込んだ。

神大は力及ばず、10位で予選通過はならなかった。大変悔しい結果に終わった。

しかし、最終組のエース森本選手は、3着の力強い走りで見事魅了し、元気づけてくれた。なんと、ベストタイムまで更新した。

果敢に攻める走りは、他の選手たちにも大いに刺激を与えた事だろう。

箱根駅伝予選会に向けて、更なる走力のアップ、全体の底上げを期待し、我々OBの応援体制の充実も図りたい。

(昭58賢卒 永田 晴彦)

横浜開港150周年記念

神奈川大学図書館所蔵貴重書にみる「開港期の横浜」展 開催

横浜開港150周年を記念し、神奈川大学図書館が所蔵している貴重書の中から、ペリー提督来航から開港にかけての横浜に関する資料を紹介するとともに、幕末から明治期にかけての関連資料を期間限定で展示いたします。

最終日はホームカミングデー当日となります。通常は公開することのない貴重な資料をご覧いただけるまたとない機会です。



○会期：平成21年6月15日(月)～10月18日(日)

○開館時間：月～土 9:00～21:30 日・祝・夏季休業期間中 9:30～18:00

※大学の夏季休業期間中は、日・祝日は休館となります。詳細は神奈川大学図書館ホームページでご確認ください。

○会場：神奈川大学 横浜キャンパス 図書館1階展示コーナー

○主要展示資料：■ホークス『ペリー艦隊日本遠征記』(1856年)
■五雲亭貞秀『神奈川横浜新開港図』(1860年) ほか

○入場：無料

○主催：神奈川大学図書館

○後援：財団法人横浜開港150周年協会

○お問い合わせ先：神奈川大学図書館 TEL: 045-481-5661(代表)
ホームページ: <http://www.kanagawa-u.ac.jp>

